

経済学部創設 50 周年にあたって

平成 12 年、成城大学経済学部は学部創設 50 周年の記念すべき年を迎えた。この大きな節目にあたり、まず、今日に至るまでに経済学部が直面した多くの困難を乗り越えるために尽力された経済学部教員はじめ成城学園、大学の多くの先輩のご苦勞に思いを馳せ、感謝の意を捧げたい。

現在、経済学部には経済学科、経営学科の 2 学科が設置され、また学部教育を基礎として大学院経済学研究科に経済学専攻、経営学専攻（いずれも博士課程前期・後期を設置）の 2 専攻が開設されている。学生数はおよそ 1,700 名であり、40 名を超える専任教員を擁する。個性尊重の教育、少人数教育という成城学園の教育理念のもとに育った卒業生は平成 12 年度末までの 50 年間に 14,000 名を超え、社会の様々な分野で活躍している。

今日、大学を取り巻く環境は草創期に劣らないほど厳しさを増している。あらためてこの機会を、われわれの置かれている状況を認識し、21 世紀へのさらなる発展を目指す跳躍台として捉えることにしたい。こうした考えから、経済学部では学部創設 50 周年を機に、大学本来の業務である教育研究の充実と卒業生との連帯の強化の 2 つの側面で記念事業を企画した。

まず教育研究面では、この機会にカリキュラムの抜本的な見直しに取り組んでいる。戦後の教育体制が大きく問われている今日、経済学部においてもそのあり方を根本から見直すまたない好機である。われわれは、こうした作業を通じて、さらに社会的存在としての成城大学の魅力を高めていきたいと考える。研究面での記念事業は、『成城大学経済研究：経済学部創設 50 周年記念論文集』すなわち本号の刊行である。経済学部では 1953 年の創刊以来、150 号を数える『成城大学経済研究』を刊行してきたが、50 周年記念論文集をその第 151・152 合併号として刊行することとし

経済学部創設 50 周年にあたって

た。池田浩太郎先生、信岡資生先生のお二人の名誉教授とかつての経済学部の同僚中川和彦法学部教授からも玉稿をいただき、これまでの記念論文集に劣らない論文集を刊行することができた。ご多忙のところをご寄稿いただいた諸先生方に厚く御礼申し上げたい。

記念事業のもう一つの柱として、卒業生を対象にホームカミング・デーを実施した。母校の現状を卒業生にお知らせし、卒業生の生涯教育にも学部が貢献するという趣旨から、わが国が直面する経済的課題をテーマに、第一線で活躍する卒業生をパネリストに招いて4回にわたりパネルディスカッションを開催し、知のリフレッシュのひとつを楽しんでいただいた。こうした企画を通して、これまで希薄だった学部と卒業生との間に緊密な連帯を構築したいと願っている。

学部創設 50 周年を機に、これらの記念事業を手がかりとして、経済学部の 21 世紀の飛躍をめざし努力をしていく所存である。

最後に、本記念論文集の刊行はじめ 50 周年記念事業の実施に当たり、ご支援下さった成城学園ならびに多くの関係者の方々に厚く御礼申し上げたい。

平成 13 年 3 月 23 日

経済学部長

油 井 雄 二